

平成 24 年度 生産実習成果報告書

実習生 建築工学科 3年 04157 丹波 順希
実習先名称 有限会社 ディーコンセプトデザインオフィス
実習期間 平成 24 年 8 月 27 日 (月) ~ 9 月 7 日 (金) [10 日間]

1. 実習の目的及びテーマ

建築的だけどまた違った視点から捉えるブースデザインを学びたいと思う。

学校の授業では基本、住宅や集合住宅を主とし学んでいるが、3m×3mの面積で小規模であり、かつ短いスパンでしか使われないものを題材として学ぶ事がなかったため、とても興味を持った。

そこで、様々なクライアントに適した空間をどう表現し、どうして欲しいかを引き出しデザインするかを近くで学び、新しい視点で物を見られるようになりたいと思う。

2. 実習内容

(1) 8月27日~30日

事務所にて模型製作作業。プレゼンテーション用の模型製作をした。

また、新しいブースのプレゼンテーション用の模型のデザインを一緒に考えさせてもらった。

(2) 8月31日

東京ビックサイト、東 456 ホールで開催されていた INTER-FOOD JAPAN 2012 にてデザインしたブースを見学した。

※開催中は写真撮影禁止のため写真なし

午後、事務所に戻り次週開催される展示会のブース模型製作をした。



微少な床や壁面の色の調整をしつつ作り上げた。

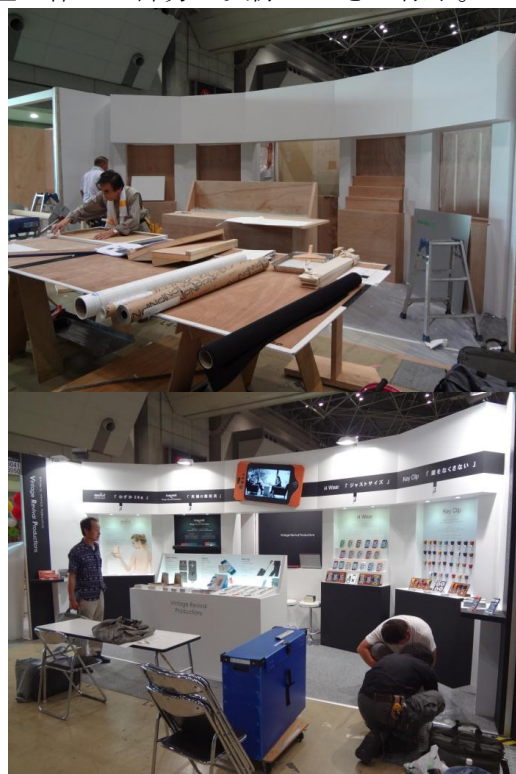
(3) 9月3日、4日

東京ビックサイト、全ホールにて開催されていた第 74 回東京国際・ギフト・ショー秋 2012 でデザインしたブースの設営現場を見学。

主に見学したのは東ホールにある、ソファカバーなどを扱う会社のブース。小さいブースだと施工会社の人が 1.2 人程度でしている。



模型で作った部分が実際にできた様子。



別件の西ホールでデザインしたブース。2コマ分なので作業している人は5人程度いた。

(4) 9月7日

撤去作業見学。照明、壁面のパネルやテーブルなどを取り外していく作業から始め、後に壁紙をはがす。2日間かけて設営したのを、数時間で撤去した。



3. 実習成果

(1) 事務所での模型製作作業

パソコンでパーツ化したものを切り抜き、模型を作るため無駄な時間が少なくなりスムーズに模型製作に取り組めた。

また、デザインを一緒に考えさせてもらった日、後日違うデザインが決定した時に私の案がどこがよくて、どこがダメだったかを丁寧に説明してもらったため、新しいものの見方をすることができた。

(2) 実際に展示会を見て

まず、普段見ることのできない設営現場を見ることで、ブースの作りや手順などを理解することができた。

特に、ギフト・ショーの出展ブースはデザイン性が豊かで見ていて飽きなかった。こうすれば人が入りたくなるな、こうすれば人目を引き付けることができるな、など自身がデザイナーになった気分で見学することができたため、面白かった。

実際に設営中に、ロゴの文字位置を微調整を加え、近隣のブースとの折り合いを見ながら位置を決めている現場は、学生の私にとってすごく新鮮であった。

ただデザインするだけではなく、周りとの関係性を考えながらデザインするという点では、建築と似ている点がやはりあるのだなと感じた。この感覚が、これから私が建築に携わっていく中で大切な部分だなと思った。

そんな中、今回の展示を見て大きく感じたことは、ブースの位置が大切ということだ。ギフト

ト・ショーで見学させてもらった3つのブースのうち1つはとても端に位置しているため、人があまり来ないというデメリットを抱えた状態だった。そんな中、一目で何かがあるということを主張するようなデザイン性が重視されていくのだ、という事を痛感することができた。

4. 感想

今回、ブースデザインという普段学ばないデザインを身近で見学して、住宅などの建築とは違った楽しみ方があることに気づけた。住宅など人が住む場所は、長いスパンで使えるようなデザインを好ましくされているが、対症的にブースは短いスパンでたくさんのデザインをして、自分の考えが短期間でブースとして出来上がる、という所で違いがあると感じた。

じっくりゆっくり設計する住宅か、淡々とぱっぱと設計するブースか。私はどちらにもいいところがあり、ブースに関しては最初抱いていた興味がさらに深くなったと思った。

このような思いを抱けるのも、模型作業だけでなく、実際に手伝わせてもらった模型がブースになったのを見て、感じられたんだと思う。学生時代では、めったの事がない限り現実に来上がるということとは無縁であり、体験することのできない事だったので、とてもありがたい機会だったと思う。

学んだことのない、デザイン事務所にお世話になったことで、違う視野も持てるようになったので、今回の生産実習は自分にとって大きなプラスになったと思った。

謝辞

事務所のみなさんは、とても面白い方が多くて、楽しく10日間をすごく事ができました。また、作業だけではなく、建築の就職先の相談に乗っていただけたり、アドバイスをいただいたのはとても助かりました。

模型作製しかできなくて、足手まといな部分も多々あったと思いますが、10日間お世話になりました。これを機に、ブースデザインやインテリア系の仕事への視野を開いていこうと思います。本当にありがとうございました。